

令和5年度 第3回施設長会 会議資料

(川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会)

— 議 題 —

- 1 各プロジェクト委員会の進捗状況等について … 資料2-1
 - (1) 災害プロジェクト委員会について
 - (2) 人材プロジェクト委員会について
- 2 施設長会情報交換テーマについて … 資料2-2
- 3 民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業について … 資料2-3
- 4 施設部会ホームページについて … 資料2-4
- 5 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会について … 資料2-5
 - ・課題別部会について
 - ・第21回かながわ高齢者福祉研究大会について
 - ・かながわ高齢者福祉研究大会 今後のあり方検討会委員について
- 6 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会について … 資料2-6
 - ・第2回代表者会について
 - ・第58回関東ブロック老人福祉施設研究総会について
- 7 その他

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1 災害プロジェクト委員会

(1) 第2回災害プロジェクト委員会・防災班長会議 / 7月24日(月) 10時～11時

≪協議・確認事項概要≫

①令和5年度川崎市総合防災訓練における二次避難所立上げ・移送訓練について

日 時：令和5年9月3日(日) 9時～(10時30分頃終了予定)

会 場：多摩区南菅中学校(メイン会場)、菅多目的広場

協力施設：生田まほろば

訓練概要：二次避難所の立ち上げ、受入れ可能の連絡を E-Welfiss で実施

⇒市職員に付き添われて移送される配慮が必要な方を施設で受入れ

- ・委員は訓練当日に生田まほろばに集合し見学する。
- ・見学で見えない部分やパソコンの画面等も録画して、当日の流れに沿った形の動画を作成し、後で確認することができるようにする。(事業協会)
- ・簡単な経緯は E-Welfiss で共有する。

②令和5年度第1回情報伝達訓練について(危機管理担当より)

7月27日(木) 13時15分～15時に実施

【訓練概要】

洪水・土砂災害が発生する恐れがある非常に強い台風を想定した訓練

E-Welfiss にログインして連絡体制を確立し、緊急ショートステイの受入れを入力

行政から連絡機能を使っの依頼があるため、それへの対応

- ・二重ログイン(施設の PC とスマホで)して画面を閲覧することは可能だが、両方で情報を更新しようとするとうエラーになるため、片方は閲覧のみで使用するとう良い。

③防災に関する情報交換会(合同班会議)について

7月27日(木) 15時10分～(情報伝達訓練終了後)

班会議での検討内容は(1)情報伝達訓練の振り返り、(2)班で実施する訓練の日時・場所等、

(3)その他防災に関する情報交換の3点

- ・令和4年12月22日に実施した『「非常災害時の相互の応援に関する規約」に基づく物資移送合同訓練（多摩班麻生班連携）』の動画と「E-Welfiss の使い方」の動画を訓練前に確認しておく。
- ・班ごとの訓練の日程や内容が決まったら事業協会 吉田局長に連絡。

④災害に関する研修会等の開催について

（案1）講 師：横浜市内特別養護老人ホーム

テーマ：BCP 策定及び訓練について

※H28年度にBCPの策定の際にお話をいただいた横浜市内の施設に、改めてBCPの策定とBCPを用いた訓練についてお話を伺う。

（案2）講 師：広島さっそくネット（広島県老人福祉施設連盟）

テーマ：相互支援のための顔の見える関係づくりについて

※被災した場合も施設・事業所の利用者の生活を維持するために、日頃からきちんとSOSが発信できる、支え合える相互支援体制の構築について

・BCPに基づいた訓練を実際どのように行っているか、実施の方法についての研修

⇒BCPに関する研修で細かい内容については改めて報告

⑤その他

- ・大規模な水害も全国各地で起こっており、地震もいつどこで起こるか分からない。
前もっての準備立てとして、発災時に誰が手伝いに行けるか、事前にチームメンバー、有志のボランティアを募っておくことができないだろうか。
事前に登録してもらい、何かあったら一本釣りの形で声をかけ、予定の調整が付くようなら行ってもらう。交通費等の関係もあるため派遣のためのスキームの構築が必要になる。

（2）今後の予定

第3回災害プロジェクト委員会・防災班長会議 / 9月5日（火）10時～

2 人材プロジェクト委員会

(1) 第2回人材プロジェクト委員会 / 7月19日(水) 15時～17時

«協議概要»

①ハローワーク「福祉の仕事」説明会について

7月14日に HW 川崎と福祉パルたかつを会場に説明会を実施。

小林委員長（福祉パルたかつ）と神田委員（HW 川崎）が人材 P 委員として参加。当日は平山委員も参加・協力。

HW 川崎は24名の参加、福祉パルたかつは19名の参加。

●講話①『施設でのケアの実際』は動画にする

(1) 誰に話してもらうか？

(2) どのような内容にするか？

HW 福祉の仕事説明会の参加者は無資格・未経験の方で、50代・60代の方が大半になる。

自分でもできるかもしれないというイメージを持ってもらうために、内容のハードルをもう少し下げて補助的な役割もあることを知ってもらうようにする。

アンケートでは毎回、施設での仕事の内容について知りたいとの意見が多く寄せられるので、

様々な仕事内容や1日のタイムスケジュール（流れ）も提示できると良い。

他職種から転職して福祉の仕事に就き、失敗しながらでもできるようになってきた、というような体験談もあると良いかもしれない。

安定して働けるという実利の部分も PR できる（ただし社会福祉法人以外を貶めるような言い回しはしない）。

地域貢献（食糧支援や福祉教育等）もアピールできる。

どうしても辛い、大変な仕事のイメージが強いので、福祉の仕事の「やりがい」を知ってもらいたい。

20分という限られた枠内なので、内容の細かい構成はもう少し吟味してから提示する必要があるが、ちゃんとした動画が作成できれば、人材プロジェクト委員会の成果物として他の施設にも共有し活用してもらうことができる。

●9月15日(金)ならびに11月8日(水)の役割分担をどうするか？

9月15日は平山副委員長と和田委員で役割分担を相談

11月8日は平山副委員長と伊藤委員で役割分担を相談

結果を事務局に報告

②介護人材の育成・定着に関するアンケートについて

アンケートは実施するが時期や内容についてはもう少し吟味する。

何を知りたいのか、何に役立てることができるのか目的を明確にする。

多くの方にアンケートに回答してもらいたいのので、数を集めるための工夫、啓発活動の方法
について検討していく。

③人材プロジェクト委員会の今後の取り組みについて

人材発掘は継続的な取り組みの必要性が高いため、高校や大学等への働きかけは重要。

どのような取り組みができるかを検討して各機関に協力を仰いでいく。

『地域の福祉人材発掘に向けた体制作り』については、昨年度から引き続き伊藤委員と吉野委員で取り組んでいく。

人材確保に含められていた『シニア層、障害者雇用等へのアプローチ』については HW と関係する部分になるため、人材発掘の『HW 等との連携・協力』に含める。

人材確保の『外国人介護人材に関する情報交換』については、今年、制度が変わるため情報収集・提供に留める。

人材確保の『他都市の人材確保の取り組みについての情報収集・提供』は必要に応じて行政に依頼するため、取り組み内容からは除外。

人材確保の『他都市の新型コロナウイルスを踏まえた求人活動』は5類移行に伴い取り組み内容から削除。

人材育成・定着の『ICT に関する取り組み』では、かながわ高齢者福祉研究大会で ICT に関する研究発表をした他都市の施設職員に依頼して、オンライン研修等を開催することができるかもしれない。

大きな2つの取り組みとして、①人材発掘における HW「福祉の仕事」説明会の講話 1 動画の内容検討・作成、②人材育成・定着に関するアンケートの見直し・実施がある。

2 班に分かれて取り組んでいくが、全委員にどちらかの班に入ってもらう。

動画班は平山副委員長、アンケート班は岩壁副委員長が担当（小林委員長は両方の班に入る）。

班分けについては、小林委員長がそれぞれの委員と調整。

※HW 動画班：平山副委員長・古敷谷委員・茶園委員・吉野委員

アンケート班：岩壁副委員長・伊藤委員・和田委員・神田委員

※アンケート班会議 / 8月7日（月）14時～

HW動画班会議 / 8月8日（火）10時～

(2) ハローワーク「福祉の仕事」説明会

日 時：7月14日（金）13時30分～14時30分

会 場：①ハローワーク川崎

②福祉パルたかつ

参加法人：介護老人福祉施設すえなが、寿楽園

参加者：①説明会24名（就職相談会18名）

②説明会19名（就職相談会7名）

(1) 川崎市社会福祉協議会（老人福祉施設協議会）について、福祉の仕事・資格の案内
市内社会福祉施設の求人情報の提供

(2) 施設でのケアの実際

講師：人材プロジェクト委員会 神田委員

(3) 福祉の現場からの声 ※施設

司会：人材プロジェクト委員会 小林委員長

【ハローワーク川崎会場】



【福祉パルたかつ会場】



(3) 今後の予定

第3回人材プロジェクト委員会 / 9月20日（水）14時～

情報交換会について

1 情報交換会について

施設長会の際に、会員施設同士で情報交換、意見交換が出来る時間が限られており、平成30年度より施設長会と合わせて実施している。

老人福祉施設「協議会」という名のとおり、施設同士で情報交換、意見交換が出来るテーマを設け、設定テーマに基づく30分程度（目安）の情報交換を実施します。

(1) 会員施設から情報交換のテーマを募集

〔情報交換のテーマ例：看取りの実施方法、加算の取得状況、職員の雇用形態 等〕

(2) 正副会長等会議において、会員施設から集約した情報交換テーマを確認し、施設長会での情報交換テーマを検討します。

(3) 施設長会の開催通知に、情報交換の設定テーマを記載し各施設へ連絡。各施設には必要に応じて資料等をご用意いただきます。

2 令和5年度第3回施設長会の情報交換会テーマ

テーマ：派遣職員と人材紹介事業所について

内容：① 最低賃金の上昇に伴う派遣職員の時給・派遣費用の変化・交渉について

② 派遣職員・人材紹介事業所に関連した課題 等

3 情報交換会 過去テーマ

【令和5年度テーマ一覧】

4月19日	『災害について』 ①各区の班長、副長について ②災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（E-Wefiss）を活用した情報伝達訓練および物資移送訓練等について
6月21日	『新型コロナウイルス5類移行に伴う対応の変化について』 ①面会方法について②感染対策の変化等について（換気の頻度が減った等）

【令和4年度テーマ一覧】

6月15日	施設におけるコロナ対応について～第6波終了の今、第7波に備えて～
8月25日	新型コロナウイルス第7波における各施設の課題、問題点、各施設との連携方法
10月19日	I C T機器の導入について
12月21日	【中間報告】第3回神奈川県特養実態調査（川崎市版）について
2月15日	施設運営における補助金の有効活用について～大規模修繕・コロナ対策など～

民間社会福祉施設従事者福利厚生費助成事業について【再掲】

(1) 経過 ※詳細は別添資料参照

(2) 令和 5 年度福利厚生費交付事業について

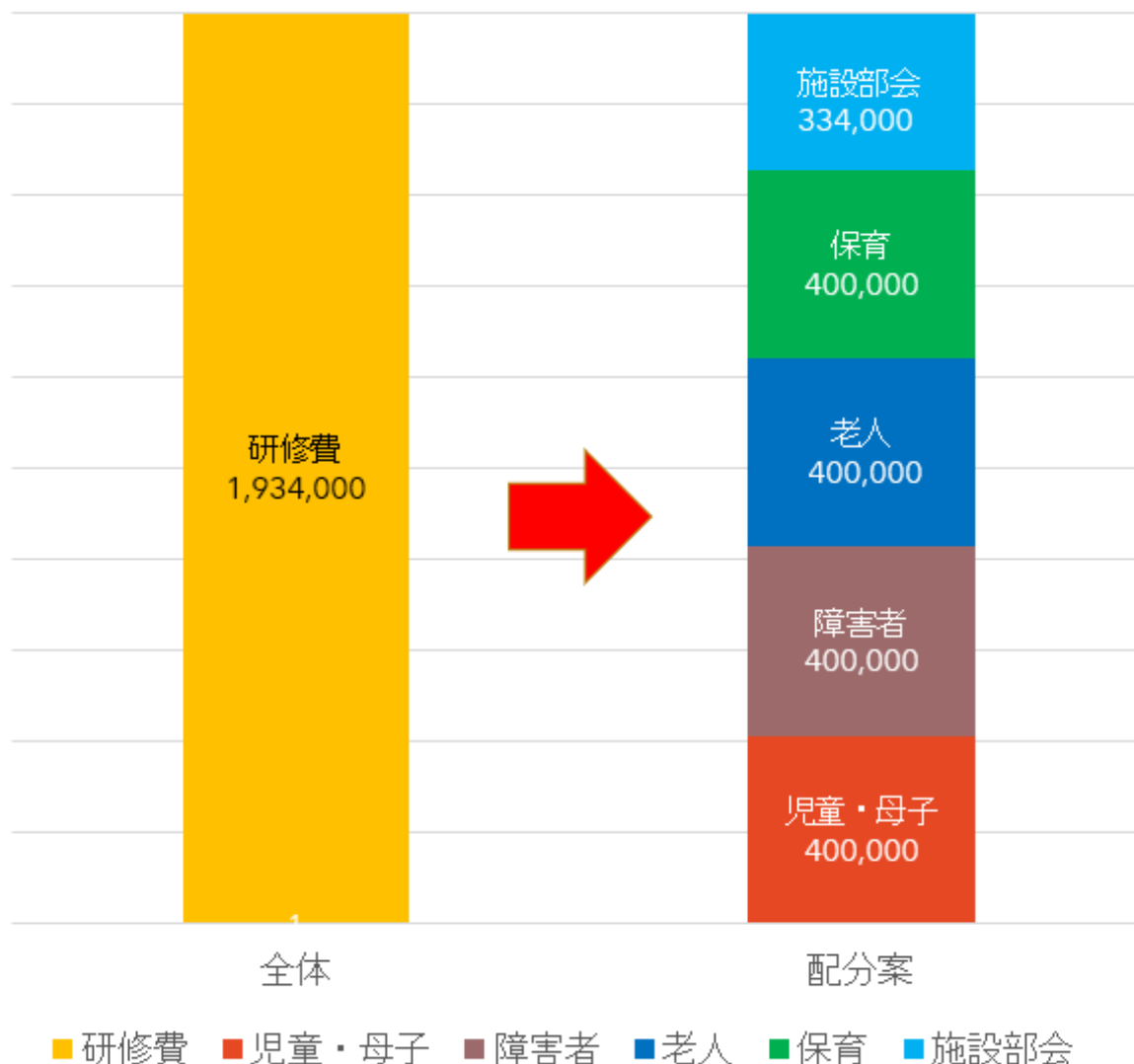
※令和 4 年度第 4 回川崎市民間社会福祉施設連絡協議会（3/22）資料より以下抜粋

①予算について

- ・令和 4 年度同様 1,934,000円

②事業計画

市内民間社会福祉施設に従事する職員の福利厚生の増進及び資質の向上を図る事を目的に、福利厚生費について、施設部会や各協議会で行っている研修事業の拡充のために各協議会へ均等に配分する。



(3) 各協議会で活用するにあたって

- ①職員一人ひとりにより効果的に還元される方法
- ②市内福祉人材を育むような使途
- ③多種多様な働き方をしている職員一人ひとりが参加しやすい研修機会の確保
- ④対象施設の事務負担、参加費の負担軽減
- ⑤研修講師の充実
 - ・これまで金額により断念していた講師を招いた研修会の開催)
- ⑥研修メニュー等の充実
 - ・各協議会会員施設職員向けにアンケートを行い、職員のニーズに合った研修の実施
 - ・福祉分野や法定研修に限らず、「レクリエーション」や「自己啓発・スキルアップ」等につながる研修会の開催
 - ・分野・種別を超えた交流や共通課題、地域課題の解決に向けた研修会等の開催
 - ・参加者負担で行っていた研修等の参加者負担の軽減
(保育研究大会、児童・母子福祉施設協議会職員交流会等)
- ⑦参加方法の充実
 - ・多種多様な働き方をしている職員がいる中で、動画配信等職員一人ひとりが参加しやすい仕組みづくり

※飲食その他これに類する行為（飲食等）のために要する費用や弁当やお茶菓子などを用意するために通常要した費用は除く



上記を踏まえ、「～福祉施設に従事する職員一人ひとりに届く活用を目指して～」
次回の施設部会までに各協議会で使途案を検討する。

(4) 協議事項：老人福祉施設協議会での使途について

- (案) 10以上の法定研修や接遇やケアに関する複数の研修動画を配信しているオンライン研修のアカウントを取得し、市内の全老人福祉施設が視聴することができるようにする。

施設部会ホームページについて

(1) 経過

①民間社会福祉施設従事者福利厚生費（松下基金）の使途変更

これまでは会員施設、法人等に対して職員数調査を実施し、調査結果を基に法人規模（職員数）に応じて交付していたが、職員 1 人に対しての交付額が年々減少していることに伴い、令和 5 年度からは使途を変更する。

（例）R4 年度 - 1 人あたり 269 円

令和 5 年度以降は施設部会や 4 つの各協議会の研修事業に活用し、より福祉施設に従事する職員一人ひとりに届く活用を目指す。

→ **各施設あての郵送やメールでは研修情報等が職員一人ひとりに届かないことが考えられ、施設部会 HP に職員一人ひとりがアクセス出来るようにする。**

※あくまでも会員施設の職員が対象のため、HP 閲覧者が全員アクセスできるのではなく、パスワードを知っている会員施設の職員がアクセスできるようにする。

②コロナ禍による会議や研修会のハイブリッド開催やオンデマンド配信

施設部会や 4 つの各協議会の施設長会や各種委員会、研修会等についてもハイブリッド開催（対面、オンライン）やオンデマンド配信（一定期間の動画配信）が当たり前になり、その方法については今後も継続していく方向である。

→ **施設部会・各協議会の研修動画等を HP より視聴できるようにする。**

③事務負担軽減や事務費等の節約

上述のとおり多くの会議や情報提供（年間 100 回程度）をメールで行っているが、アドレス変更やデータ制限によるメールエラーがおこり、その都度、各施設にアドレス確認やデータ容量を変えてメールし直す、複数回に分けてメールし直す等を行っている。

また、施設部会全体で 300 施設を越えており、年間で約 50 万円（各種大会案内やイベント等を含む）近くの郵送代がかかっている状況である。

→ **年間約 150 回程度の会議があり、その都度メールで zoom 情報や資料を送っていたが、今後は施設部会 HP から各種資料のダウンロードができるようにする。**

④会員メリット、会員増強

既存の会員が会員メリットを感じずに退会してしまったり、なかなか新規会員になっていただけない施設に対して、会員メリットを感じていただく施設部会 HP を作成する。

→ **既存会員はもちろん、新規会員の入会を促すような魅力ある施設部会 HP を作成する。**

【参考】会費額

通所）50 名未満 7,000 円（区社協へ 4,000 円）50 名以上 9,000 円（区社協へ 5,000 円）

入所）50 名未満 15,000 円（区社協へ 8,500 円）50 名以上 18,000 円（区社協へ 10,000 円）

(2) 機能

①会員ページ（パスワードまたはID とパスワード？）

パスワード等の情報を知っている会員施設の職員がアクセスできる

※全施設共通か各施設ごとにパスワード設定

（各施設ごとの方が HP へのアクセス数が各施設ごとにわかる？）

②動画視聴（HP から動画を視聴できる）

③資料ダウンロード（開催通知や資料を HP からダウンロードできる）

④スケジュール機能

⑤マップ機能

⑥お知らせ機能

⑦簡単に、タイムリーに情報を更新する機能

(3) 検討事項

○ホームページの確認

見やすさは？より魅力的なホームページにするためには？



会員募集



川崎市社会福祉協議会では、市内の福祉関係団体、社会福祉施設等に会員となっていて、協働で「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」の推進に取り組んでいます。

会員になると…詳しい情報や各スケジュールがご確認いただけます。

→ [会員募集情報はこちら](#)

バナー広告

バナー広告等掲載可能です。



市社会福祉協議会

[川崎市総合福祉センター](#)
[総合研修センター](#)
[川崎市民生委員児童委員協議会](#)
[川崎市福祉人材バンク](#)
[ホームヘルパー採用サイト](#)

区社会福祉協議会

[川崎区社会福祉協議会](#)
[幸区社会福祉協議会](#)
[中原区社会福祉協議会](#)
[高津区社会福祉協議会](#)
[宮前区社会福祉協議会](#)
[多摩区社会福祉協議会](#)
[川崎市社会福祉協議会](#)
[老人福祉センター](#)
[老人いきの家](#)

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 福祉部 施設事業推進課

〒211-0053
 川崎市中原区上小田中6-22-5
 川崎市総合福祉センター6階
 TEL：044-739-8717
 FAX：044-739-8737



社会福祉法人
 川崎市社会福祉協議会



5 神社協福第 390 号

令和 5 年 7 月 14 日

川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会

会長 清水 完敏 様

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

老人福祉施設協議会 会長 西山 宏二郎

神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会

課題別部会メンバーの推薦について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして別紙のとおり設置することとなりましたので、貴団体から次によりメンバーをご推薦いただきたくお願いいたします。

なお、ご推薦は別紙推薦書により来る令和 5 年 8 月 28 日（月）までに事務担当あてにお送りください。

1 推薦人数

会議名	担当副会長	推薦人数
施設運営に関する部会	阿部副会長 (東林間シニアクラブ)	2 名
人材確保等に関する部会	清水副会長 (夢見ヶ崎)	2 名
災害対応に関する部会	前田副会長 (たきがしら芭蕉苑)	2 名

事務担当は、

福祉サービス推進部

〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3-17-2

TEL 045-534-5662 FAX 045-312-6302

E-mail sisetu@knsyk.jp

神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会

課題別部会メンバー推薦書

(任期：令和５年９月１日から令和７年３月３１日)

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

団体名 施設部会 老人福祉施設協議会

標記について次のとおり推薦いたします。

施設運営に関する部会（２名）

No.	1	2
氏 名	白井 裕一	関口 英志
所属施設名	富士見プラザ	おだかの郷
所在地	〒 216-0042 川崎市宮前区南野川 1-8-11	〒 213-0013 川崎市高津区末長 2-20-20
TEL	044-751-2252	044-982-1110
FAX	044-753-6087	044-982-1620
E-mail	nenokami@rt.catv.ne.jp	hyakusyunkai@io.ocn.ne.jp

人材確保等に関する部会（２名）

No.	1	2
氏 名	小林 秀夫	岩壁 信行
所属施設名	新緑の郷	等々力
所在地	〒 213-0026 川崎市高津区久末 473-14	〒 211-0051 川崎市中中原区宮内 4-19-26
TEL	044-948-7025	044-753-2260
FAX	044-948-7023	044-753-2261
E-mail	kobayashi@midorinosato.or.jp	kasugakai@bz01.plala.or.jp

災害対応に関する部会（２名）

No.	1	2
氏 名	山口 皓史	稲垣 仁久
所属施設名	生田まほろば	わらく桃の丘
所在地	〒 214-0038 川崎市多摩区生田 1-4-17	〒 216-0041 川崎市宮前区野川本町 3-17-3
TEL	044-945-6000	044-777-8910
FAX	044-945-6020	044-777-8911
E-mail	yamaguchi-k@mizuho-care.jp	inagaki@warakukai.or.jp

※記載いただいた情報は通知の送付等のご連絡先として使用します。

令和5年7月18日
福祉新聞 4面

高校生による介護技術発表の様子



わが国
が大会
な者
か高齢

現場の実践学び合う

ICT活用など注目

関東・申信越静

高齢者福祉現場の日常の実践を発表し学び合う「第21回かながわ高齢者福祉研究大会」（神奈川県社会福祉協議会主催）が5日、横浜市内で開かれた。コロナの影響で対面開催は4年ぶり。

研究発表は計86題。最も多かったテーマはICT（情報通信技術）

・介護ロボット。導入後にうまく活用できないことがないよう、特別養護老人ホームすみよし（社会福祉法人セイワ）は職員が使い慣れているスマートフォンを活用したシステム

を構築した。ソフトを連携させて利用者の傍らで介護記録ができるようになったことから業務を効率化でき、転倒・転落事故も半減した。チャット機能を活用することにより多職種間でリアルタイムの情報共有も可能になった。「あくまで最後は人対人。人とICTが融合した介護の形を目指す」とした。

医療連携に関しては、特養若竹苑（社会福祉法人若竹大寿会）が高齢者施設の緩和ケアについて在宅医（回答203人）に調査した結果を発表。9割が「もっと積極的に行うべき」と答えた。ただ、

高齢者施設で対応できる疾患は老衰や認知症などに限られており、今後普及させていくには施設の運営方針の変更、看護体制の改善、医療保険での対応などが必要とされた。「高齢者施設が終の棲家として機能するためには施設類型に合わせた検討が求められる」と提起した。

研究発表はほかに食事・栄養・口腔ケア、人材育成、認知症ケアのテーマも目立った。

また、会場では高校生による認知症の特性に合った着脱支援などの介護技術発表や、今回新たに若手の施設長や職員らが高齢者福祉の仕事の本音で伝えるミニセミナーも開かれた。同日は学生を含めて1200人以上が来場した。（横戸新）

第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会
研究発表 優秀賞受賞演題・施設

研究発表 22 発表(発表会場ごと上位 3 発表、第 5 会場第 3 順位の評価点において 2 施設が同点であった)

《発表順》

会場	演題名	法人・施設名
1	家族、相談員として経験し、学んだ看取り 施設、家族、在宅医との連携	社会福祉法人藤嶺会 特別養護老人ホーム 弥生苑
	高齢者施設の緩和ケアの現状と課題 在宅医対象の全国アンケート調査	社会福祉法人若竹大寿会 介護老人福祉施設 若竹苑
	在宅での看取りケアの質の向上 多職種デスカンファによる効果の検討	社会福祉法人若竹大寿会 わかたけ訪問看護ステーション
2	あなたと向き合うための ICT ともに過ごせる尊い時間	社会福祉法人奉優会 特別養護老人ホーム かわいの家
	LIFE 導入後の効果と課題について	社会福祉法人湘南福祉協会 特別養護老人ホーム 湘南ホーム
	特養からの卒業 私たち入所施設職員にできること	社会福祉法人道志会 道志会老人ホーム
3	改めまして SGK 委員会です 三つのテーマをひとつに	社会福祉法人育明会 レジデンシャル常盤台
	可視化されたデータに基づく排泄援助	社会福祉法人育生会 よつば苑
	何から始めれば良い? ICT ～施設での実践的 ICT 化とは～	社会福祉法人セイワ 介護老人福祉施設 すみよし
4	ご利用者の QOL 向上を目指して 脳機能との関連における一試行	社会福祉法人道志会 道志会老人ホーム
	楽 楽 入浴介助 ウルトラファインバブルで幸せいっぱい	社会福祉法人緑成会 特別養護老人ホーム 新緑の郷
	繰り返す臀部の皮剥けに対するアプローチ	社会福祉法人若竹大寿会 わかたけ青葉
5	フレイル予防を意識した献立と食事提供	社会福祉法人照陽会 みんなと暮らす町
	誤嚥性肺炎による入院を減らしたい!! 食の幸せを守る管理栄養士の、この指とまれ	社会福祉法人敬心会 特別養護老人ホーム 栗原ホーム
	限界まで加水を抑えたソフト食への挑戦 ～私たちでも美味しいソフト食できました～	社会福祉法人寿徳会 はだの松寿苑
	どうする! 口腔と栄養 その時、ケアマネは動いた…訪問歯科へ	社会福祉法人若竹大寿会 介護老人福祉施設 若竹苑通所介護事業
6	ストレスチェックを活用した職場改善 エンゲージメントを高める具体的な取り組み	社会福祉法人若竹大寿会 介護老人福祉施設 わかたけ都筑
	介護士補完計画 ～知識より意識～	社会福祉法人康仁会 はなの家とむろ
	キャリアデザインが描ける評価制度の導入	社会福祉法人若竹大寿会 介護老人福祉施設 わかたけ富岡
7	スマホでラクラク情報共有 ヘルパーも負担が減って効率化	社会福祉法人中心会 えびな北高齢者施設
	安心して過ごしやすいデイサービスの環境作り コロナ禍での認知症高齢者への環境支援	社会福祉法人聖テレジア会 聖テレジア在宅ケアセンター大船 デイサービス台
	地域ケアプラザで行うひきこもり相談	社会福祉法人若竹大寿会 横浜市すすき野地域ケアプラザ

かながわ高齢者福祉研究大会の見直しについて
(これまでの経過・見直しの方向性)

大会開催の背景

神奈川県内の高齢者福祉・介護分野の発展とサービスの質向上を目的に開催。

- ・ 成果を発表する機会の創設
- ・ 高齢者福祉、介護分野に科学的な根拠の構築
- ・ 施設同士で互いの研究成果を公開する
- ・ 高齢者福祉を担う人材の確保・育成・定着

第1回

平成14年度
1月23日開催

開会式・シンポジウム＋実践発表

第2回

平成15年度
7月22日開催

形式的な開会式の廃止

県介護協との連携、専門学校生等の聴講 学生参加費の無料
学生の参加しやすい時期として、開催時期を7月に変更
協賛企業出展の開始

第3回

平成16年度
7月8日開催

施設等紹介・就職相談コーナーの開始

第10回

平成23年度
7月5日開催

介護技術発表の開始

第10回の節目に、実践・実技型の新しいプログラムを導入
日ごろ実践している介護を会場で披露し、お互いに刺激し
合うことで介護技術の向上を図り、自らの介護の再発見の
場になることを目的（優秀賞の表彰）

第18回

令和元年度
7月2日開催

就職相談コーナーの在り方を見直し、県内の方々へ身近に
ある社会福祉法人をより知っていただけるような展示ブー
ス中心のプログラムに変更（学生の参加しやすさを考慮）

第19回

令和3年度
6月30日～7月31日配信

関ブロ老人福祉施設研究総会との合同大会

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催
介護技術発表については、発表内容の性質上、競い合うもの
とせず、評価者による講評のみとした

第21回

令和5年度
7月5日開催

大会プログラムの見直しも見据えつつ、4年ぶりに開催

施設紹介コーナーを介護の仕事を知る機会の提供の場として
位置づけ、プログラムを見直し

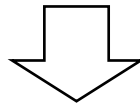
外国人人材に関する企画の実施

開催当初の目的・目標（高齢者福祉・介護分野の発展とサービスの質向上）に加え、

学生・求職者向けのプログラムや、一般の方々へ向けた発信の場としての活用など、大会ごとに見直しを
行いながら取り組んできた

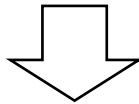
課題として挙げられている意見

- ・ 研究発表者、介護技術発表者として参加する施設が固定化されてきている
- ・ 介護協加盟校の減少や養成学科の廃止に伴い、学生の参加者数が減少傾向にある
- ・ 広く一般へ高齢者福祉施設や施設での取り組みについて発信するなかでは、プログラム上施設関係者以外が参加しにくくなっている
- ・ 大会開催が恒例行事となり、参加への意識が義務化している
- ・ 現場の人材不足の影響もあり、多数の職員を参加させることが難しくなっている
- ・ 実行委員の推薦、係員の派遣等についても、必要人数を選出することが難しくなり、派遣する施設の負担感が大きくなっている



見直しの方向性

- ①開催当初の目的、目標に立ち返り、今後の県内の高齢者福祉の発展に必要な要素を再確認する
- ②開催当初を知る人が少なくなる中で、あらためて開催の目的、目標の共有を行いながら、新たなかたちを考えていく
- ③開催の目的、目標を踏まえたうえで、県内高齢者福祉施設関係者が自分たちで運営ができる、参加しやすい大会のあり方や進め方を検討する



かながわ高齢者福祉研究大会 今後のあり方検討会

- ・ 委員長は県老協の加藤副会長
- ・ 10月頃に第1回の検討会を開催予定

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
施設部会老人福祉施設協議会 会長 殿

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
老人福祉施設協議会 会長 西山 宏二郎

かながわ高齢者福祉研究大会 今後のあり方検討会委員の選出について（依頼）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る 7 月 5 日に開催いたしました「第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会」におきましては、貴会より多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、かながわ高齢者福祉研究大会においては、これまでの開催実績を踏まえ、各ブロック、県内施設の状況に即した開催方法を検討すべく、今後のあり方検討会を設置することといたしました。

つきましては、貴会より検討会委員の選出をいただきたく、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、別紙にてご回答くださいますようお願い申し上げます。

1. 選出人数 3 名

2. 回答期限 令和 5 年 9 月 15 日（金）

3. 選出にあたっての留意点

（1）これまでの開催実績を踏まえた検討を行うため、推薦者は大会正副実行委員長または実行委員経験者から選出する。

4. 第 1 回検討会の開催について

開催時期：10 月（委員決定後、日程調整を行います。）

〔 事務担当は、
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会福祉サービス推進部／加藤
TEL 045-534-5662 FAX 045-312-6302 E-mail sisetu@knsyk.jp 〕

歴代正副実行委員長・ブロック割

大会	年度	実行委員長		副実行委員長	副実行委員長	副実行委員長	副実行委員長
1	平成14年度	三澤 京子 (寒川ホーム)	県	巻田 功 (ケアハウスゆうあい)	佐相 昇 (幸風苑)		
2	平成15年度	竹田 一雄 (わかたけ富岡)	横浜	三澤 京子 (寒川ホーム)	金子 修一 (みかど荘)		
3	平成16年度	深瀬 亮一 (しおん)	川崎	大畑 直裕 (平塚養護老人ホーム)	小倉 徹 (松みどりホーム)		
4	平成17年度	竹田 一雄 (わかたけ富岡)	横浜	川瀬 和一 (藤沢特別養護老人ホーム)	鈴木 啓正 (天王森の郷)	市川 稔己 (恒春園)	
5	平成18年度	竹田 一雄 (わかたけ富岡)	横浜	川瀬 和一 (藤沢特別養護老人ホーム)	高橋 栄治郎 (ピオラ三保)	平本 正志 (すえなが)	
6	平成19年度	平本 正志 (すえなが)	川崎	竹田 一雄 (わかたけ富岡)	木村 辰雄 (ひらまの里)	甘利 悟 (甘露苑)	
7	平成20年度	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)	県	萩原 秀男 (横須賀愛光園)	久保田 隆 (泉の郷)	松尾 和彦 (夢見ヶ崎)	
8	平成21年度	竹田 一雄 (わかたけ青葉)	横浜	三澤 京子 (寒川ホーム)	西山 宏二郎 (弥生苑)	平本 正志 (すえなが)	
9	平成22年度	深瀬 亮一 (しおん)	川崎	小泉 隆一郎 (泉心荘)	杉本 信雄 (羽沢の家)	金子 利昭 (等々力)	
10	平成23年度	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)	県	森 弘樹 (ヒューマン)	杉本 信雄 (羽沢の家)	平本 正志 (すえなが)	
11	平成24年度	杉本 信雄 (羽沢の家)	横浜	加藤 馨 (陽光の園)	座間 研一 (ワゲン新横浜)	金子 修一 (みかど荘)	
12	平成25年度	金子 修一 (みかど荘)	川崎	古谷田 紀夫 (みなみ風)	座間 研一 (ワゲン新横浜)	高橋 輝彦 (陽だまりの園)	大久保 祐次 (モモ)
13	平成26年度	三澤 京子 (寒川ホーム)	県	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)	西山 宏二郎 (弥生苑)	藤田 茂樹 (潮見台みどりの丘)	西川 慶次 (ライフホーム城山)
14	平成27年度	西山 宏二郎 (弥生苑)	横浜	三澤 京子 (寒川ホーム)	牧野 裕子 (第2新横浜パークサイドホーム)	白井 裕一 (富士見プラザ)	大久保 祐次 (モモ)
15	平成28年度	金子 修一 (みかど荘)	川崎	米山 康之 (芹沢ホーム)	前田 卓哉 (たきがしら芭蕉苑)	牧田 正之 (片平長寿の里)	赤間 源太郎 (縁JOY)
16	平成29年度	赤間 源太郎 (縁JOY)	相模 原	浅葉 統太 (横須賀椿園)	杉本 信雄 (羽沢の家)	仁科 淳子 (桜寿園)	小林 立 (千代田デイサービスセンター)
17	平成30年度	森 弘樹 (ヒューマン)	県	古谷田 紀夫 (みなみ風)	西山 宏二郎 (弥生苑)	高松 繁行 (多摩川の里)	及川 悦子 (柴胡苑)
18	令和元年度	牧野 裕子 (第2新横浜パークサイドホーム)	横浜	古谷田 紀夫 (みなみ風)	水越 洋二 (本牧ホーム)	藤田 茂樹 (潮見台みどりの丘)	萩原 正晃 (はなさか)
19	令和2・3年度	藤田 茂樹 (潮見台みどりの丘)	川崎	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)	前田 卓哉 (たきがしら芭蕉苑)	白井 裕一 (富士見プラザ)	坂本 陽二郎 (芙蓉の園)
20	令和4年度	坂本 陽二郎 (芙蓉の園)	相模 原	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)	水越 洋二 (みなもの桜)	牧田 正之 (多摩川の里)	山口 忠夫 (東橋本ひまわりホーム)
21	令和5年度	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)	県域	関田 智彦 (ルビーホーム)	晝間 靖裕 (やまゆりホーム)	平山 みちる (すえなが)	川上 徹 (特別養護老人ホームモモ)

かながわ高齢者福祉研究大会
 実行委員一覧

(敬称略)

回	年度		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	委員数
1	H14年度	施設名	しおん	幸風苑	太陽の園	夢見ヶ崎	みかど荘							5
		担当者名	小向	佐相	高橋	白戸	金子							
2	H15年度	施設名	しおん	桜寿園	陽だまりの園	夢見ヶ崎	みかど荘							5
		担当者名	小向	陸川	高橋	白戸	金子							
3	H16年度	施設名	しおん	すえなが養護	陽だまりの園	夢見ヶ崎	みかど荘							5
		担当者名	深瀬	平山 H16.04.03異動	高橋	白戸	金子							
4	H17年度	施設名	しおん	すえなが	みやうち	ひらまの里	恒春園							5
		担当者名	深瀬	平本	石川	林	市川							
5	H18年度	施設名	しゅくがわら	介護すえなが	みやうち	ひらまの里	恒春園	虹の里						6
		担当者名	八劔	平本	石川	木村	市川	内井						
6	H19年度	施設名	しゅくがわら	すえなが	夢見ヶ崎	ひらまの里	富士見プラザ	虹の里						6
		担当者名	八劔	平本	松尾	木村	四条	内井						
7	H20年度	施設名	よみうりランド花ハウス	幸風苑	夢見ヶ崎	多摩川の里	富士見プラザ	金井原苑	等々力					7
		担当者名	牧	平山	松尾	日野	四条	依田	金子					
8	H21年度	施設名	しおん	すえなが	陽だまりの園	幸風苑	金井原苑	多摩川の里	等々力					7
		担当者名	深瀬	平本	高橋	平山	依田	日野	金子					
9	H22年度	施設名	みんなと暮らす町	桜寿園	風光	幸風苑	金井原苑	等々力	フレンド神木	しおん	多摩川の里			9
		担当者名	広嶋	中島	宮崎	平山	依田	金子	井田	深瀬	日野 H22.04.03異動			
10	H23年度	施設名	みんなと暮らす町	桜寿園	風光	フレンド神木	みかど荘	緑陽苑	陽だまりの園	介護すえなが	金井原苑			9
		担当者名	広嶋	中島	宮崎	井田	金子	佐野⇒堀	高橋	平本	依田			
11	H24年度	施設名	ひらまの里⇒多摩川の里	大師の里	ピオラ川崎	鷲ヶ峯	みかど荘	緑陽苑	陽だまりの園	介護すえなが	金井原苑	風光		10
		担当者名	石田⇒高松	後藤	斉藤	平山	金子	堀	高橋	廣瀬	依田	宮崎		
12	H25年度	施設名	多摩川の里	大師の里	ピオラ川崎	鷲ヶ峯	しゅくがわら	長沢壮寿の里	すみよし	潮見台みどりの丘	金井原苑	みかど荘	陽だまりの園	11
		担当者名	高松	市川	斉藤	平山	八劔	佐藤	磯野	藤田	依田	金子	高橋	
13	H26年度	施設名	富士見プラザ	こだなか	しゃんぐりら	菅の里	しゅくがわら⇒夢見ヶ崎	長沢壮寿の里	すみよし	潮見台みどりの丘	金井原苑			9
		担当者名	白井	神保⇒小田	宮澤	石川	八劔⇒大塚	佐藤	磯野	藤田	依田			
14	H27年度	施設名	わらく桃の丘⇒和楽館	片平長寿の里	南さいわい・こむかい	富士見プラザ	こだなか	しゃんぐりら	菅の里	夢見ヶ崎	金井原苑	長沢壮寿の里		10
		担当者名	清水	牧田	平野	白井	小田	宮澤	石川	大塚	依田	佐藤		
15	H28年度	施設名	和楽館	片平長寿の里	南さいわい・こむかい	クロスハート幸・川崎	生田まほろば	おだかの郷	桜寿園	幸風苑	ヴィラージュ川崎	川崎市恵楽園	みかど荘	11
		担当者名	清水	牧田	平野	坂口	梅田	関口	仁科	佐藤	神田	田中	金子	
16	H29年度	施設名	多摩川の里	あさおの丘	柿生アルナ園	クロスハート幸・川崎	生田まほろば	おだかの郷	桜寿園	幸風苑	ヴィラージュ川崎	川崎市恵楽園		10
		担当者名	高松	菅原	鈴木 聡	坂口	鈴木	関口	仁科	佐藤	芳賀	田中		
17	H30年度	施設名	多摩川の里	あさおの丘	柿生アルナ園	ヴィラージュ虹ヶ丘	ケアハウスすえなが	生田広場	和楽館	ブラチナ・ヴィラ野川	等々力	さいわいデイ		10
		担当者名	高松	外塚	鈴木 聡	一ノ瀬	笹野	神田	小松	渋谷	岩壁	森田		
18	H31年度	施設名	潮見台みどりの丘	金井原苑	恒春園	ヴィラージュ虹ヶ丘	ケアハウスすえなが	生田広場	しおん	ブラチナ・ヴィラ野川	等々力	しゃんぐりら		10
		担当者名	藤田	依田	竹本	一ノ瀬	笹野	神田	川添	渋谷	岩壁	伊藤		
19	R2・3年度	施設名	潮見台みどりの丘	金井原苑	恒春園	片平長寿の里	こむかい	新緑の郷	しおん	すえなが	富士見プラザ	しゃんぐりら	しゅくがわら	11
		担当者名	藤田	依田	竹本	牧田	己斐	小林	古寺	平本	白井	伊藤	八劔	
20	R4年度	施設名	すみよし	菅の里	すえなが	片平長寿の里	こむかい	新緑の郷	富士見プラザ					7
		担当者名	植田	藤谷	平本	牧田	己斐	小林	白井					
21	R5年度	施設名	鷲ヶ峰⇒すえなが	菅の里	すみよし	大師の里	太陽の園							5
		担当者名	平山	藤谷	和田	古敷谷	高橋							

⇒実行委員長（県、横浜、川崎、相模原の持回り）
 ⇒副実行委員長（毎回選出）

令和 5 年度 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 第 2 回代表者会 議事報告

日 時：令和 5 年 6 月 2 9 日（木） 1 4 時から 1 5 時

会議形式：Zoom によるオンライン会議

参 加 者：清水会長、事務局（鈴木）

1 開 会
事務局

2 会長挨拶

田邊会長（千葉県）

本日は役員の選出が議題としてあるため、現時点では前会長となる

全国老人福祉施設協議会の総会が先日あり、関東ブロックから栃木県の大山会長が会長に、東京都の田中会長が副会長に、新潟県の山田会長も副会長に選出された

正副会長併せて 6 名中 3 名が関東ブロックから選出されたので、関ブロ老施協としても協力していきたい

大山会長（全老施協会長）

次年度は介護報酬改定の時期になる中で財務省への報酬アップの働きかけのエビデンスとして収支実態のアンケートに協力してもらうことになると思うので、アンケート率上昇のためにもぜひ協力してほしい

3 議長選出

役員選出があるため会長が議長となることができない

東京都の田中会長に議長を依頼（会則 7 条 3 項）

定足数の確認 会議は成立（会則 7 条 4 項）

4 議事録署名人

武藤会長代行（山梨県） 萱垣会長（長野県）

5 議 事

議案第 1 号 令和 4 年度事業報告について

事務局から説明後、承認

議案第 2 号 令和 4 年度一般会計収支決算について

事務局から説明後、承認

議案第 3 号 令和 5 - 6 年度役員の選出について

会則 8 条 2 項より、『会長は代表者会において互選により選出』となっている

⇒種岡会長（静岡県）

引き続き田邊会長（千葉県）に 2 カ年の会長をお願いしたい

→全会一致で承認

会則 8 条 3 項より、『副会長は会長が指名し、代表者会で承認』となっている

⇒田邊会長

副会長には、田中会長（東京都）、西山会長（横浜市）、山田会長（新潟県）を指名したい

→全会一致で承認

会則 1 2 条 2 項より、『監事は会長の推薦により、代表者会において選任』となっている

⇒監事には、石井会長（山梨県）、加藤会長（神奈川県）を推薦したい

→全会一致で承認

会則 1 3 条 2 項より、『相談役は会長が推薦し、代表者会において承認』となっている

⇒相談役には、引き続き林顧問（千葉県）、西岡顧問（東京都）を推薦したい

→全会一致で承認

6 その他

○関東ブロック老施協各委員会委員長について

田邊会長

介護保険対策委員会の委員長として古谷会長（群馬県）を、総務委員会の委員長として種岡会長（静岡県）を推薦したい
→全会一致で承認

○第58回関東ブロック老人福祉施設研究総会について（別紙資料）

古谷会長（群馬県）

パンフレットが完成したため6月中に送付、7月上旬には各自治体の事務局に届く予定
9月13日（水）の夜に懇親会を計画しているので、都県市代表は出席してほしい
案内文は明日発送予定

○生活基盤の保障について（別紙資料）

石井会長（山梨県）

昨年度、山梨県では知事の方針で物価高騰・賃上げの助成金がなく、省エネ・再エネ補助金だけだった

それも4分の3を補助するが、4分の1は自己負担ということで、4分の1の設備費も支払えず設備導入できない施設も数多くあった

賃上げができなかったことに伴う（それだけが理由ではないかもしれないが）人材の流出、酷いところだと一気に10名近くが退職するような状況が見られた

賃上げができないと流出が止められないことを訴えていったところ、今年度は物価高騰対策支援金として、1人当たり月額9,000円の賃上げ支援金（手厚い支援のため人員を増やした分だけもらえるというものではなく、その場合1人当たり月額6,000円程度になる場合もある）が支給されることになった

次年度については報酬改定に期待しているようで支援金が継続されるかは不透明

報酬改定・賃金改定が進まなければ人材流出はますます進んでいくと予想される

人材を呼び込むための全国的な施策を検討していく必要がある

例えば、全社協のホームページで求人を出す

会員は無料で求人を出すことができ、閲覧する求職者には年収試算ができる等のメリットを打ち出せば、会員数を増やすこともでき、人材を呼び込むこともできるかもしれない

職員一人ひとりがどうすれば幸せに生活できるようになるのか、どうすれば今の仕事を続けたいと思ってもらえるのかを考えていくことが大切

関東ブロック老人福祉施設
各都県市代表者及び事務局長 様

第58回関東ブロック老人福祉施設研究総会
大 会 会 長 古 谷 忠 之
大会実行委員長 信 澤 真由美

第58回関東ブロック老人福祉施設研究総会の申込みについて（通知）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記研究総会については、各都県市皆様のご協力により大変多くの会員施設・事業所からの申込を賜り、誠にありがとうございます。

申込みについては、8月17日（木）締切となっておりましたが、期日までに間に合わない等の照会も複数ございましたので、**8月31日（木）まで申込受付期間**とさせていただきますので、貴会会員施設・事業所等関係者への周知方よろしくお願いいたします。

記

- 1 開催日時 令和5年9月13日（水）12：20～16：30（全体会）
令和5年9月14日（木） 9：00～12：45（分科会）
- 2 開催場所 Gメッセ群馬 メインホール他
群馬県高崎市岩押町12-24 TEL：027-322-2100
- 3 申込締切 **令和5年8月31日（木）**
- 4 申 込 先 大会専用ホームページ <http://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/kanto58/>
上記にアクセスし、お申し込みください。又は、開催要項の「参加申込書」に必要事項を記入の上、下記あて郵送、FAXでお送りください。
《送付先》
東武トップツアーズ株式会社 高崎支店
群馬県高崎市宮元町212
TEL：050-9001-8731 FAX：027-325-3913

（大会事務局）
一般社団法人群馬県老人福祉施設協議会事務局 担当 田口
〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町13-12
TEL：027-255-6034 FAX：027-255-6173
Mail：taguchi@jsgunma.jp